

2020年5月15日

各 位

会社名 ヒビノ株式会社
 代表者名 代表取締役社長 日比野 晃久
 (コード番号 2469 東証 JASDAQ)
 問い合わせ先 執行役員ヒビノ GMC 経営企画グループ
 グループ長 大関 靖
 (TEL : 03-3740-4391)

2020年3月期通期連結業績予想と実績との差異に関するお知らせ

2020年2月7日に公表しました2020年3月期(2019年4月1日~2020年3月31日)の通期連結業績予想と本日公表の実績に差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 2020年3月期通期連結業績予想と実績との差異(2019年4月1日~2020年3月31日)

(単位:百万円)

		売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想	A	43,500	1,850	1,850	1,050	円 銭 105.43
今回発表実績	B	40,825	1,267	1,428	694	69.78
増減額	B-A	△2,674	△582	△421	△355	
増減率	(%)	△6.1	△31.5	△22.8	△33.8	
(ご参考)前期実績 (2019年3月期)		33,910	1,430	1,723	976	98.00

2. 差異の理由

当連結会計年度における2020年1月までの業績は、前回発表予想に対して、事業ごとにばらつきはあるものの、ほぼ計画どおりに推移いたしました。M&Aによる事業拡大に加え、東京オリンピック・パラリンピック関連や東京都内・地方主要都市の再開発需要、コンサート・イベント需要の拡大を追い風に、順調な進捗を示しておりました。しかしながら、2020年2月中旬以降、新型コロナウイルス感染症の拡大を受け、大多数のコンサート・イベントが中止・延期となりました。当社グループの主たる収益源であるコンサート・イベント事業において需要の著しい減少に見舞われたことから、売上高及び営業利益は、前回予想を下回りました。経常利益は、保険解約返戻金の計上等により、営業利益よりも減少幅が抑えられました。

また、当社の連結子会社であるH&X Technologies, Inc.が固定資産に計上している事業用設備(LEDディスプレイ・システム)について、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う需要の急減により収益性が悪化したため、資産の健全化を目的として、固定資産の減損損失107百万円を特別損失に計上しております。

これらの結果、売上高40,825百万円(前回予想比6.1%減)、営業利益1,267百万円(同31.5%減)、経常利益1,428百万円(同22.8%減)、親会社株主に帰属する当期純利益694百万円(同33.8%減)となりました。

以 上